



師走！2011年も残すところ、僅かとなりました。そこで、今回は2011年、薬局によせられた多くの質問や疑問に対し、少しでもお答えしたいと思います。

■病院内の薬局と調剤薬局の違いは何？

病院内の薬局(調剤所)

医療施設内に設置しているため、薬局開設許可が不要です。そのため、**他の医療機関からの処方箋を調剤することができません**。また、**一般用医薬品を販売することが出来ません**。

調剤薬局(保険薬局)

各都道府県知事から薬局の開設許可を受けています。独立した医療機関であるため、複数の医療機関から発行された院外処方箋を受け付けて調剤することができます。多くの調剤薬局は、健康保険制度による保険調剤が可能な保険薬局となっています。また、一般用医薬品の販売を行うことができます。

■よく見かける薬局用語の説明 (復習編)

■一包化とは

例えば、服用する薬が3種類あるとします。

	朝食後	昼食後	夕食後
薬A			
薬B			
薬C			
	3種類	1種類	2種類

通常は、1日の服用回数別に(例えば、1日3回毎食後、1日1回朝食後など)分けて薬ABCをお渡しします。

※下剤やワーファリンなど服用量に変更になる可能性のある場合・・・

別包(他の薬剤と分包紙を別にすること)でお渡しする場合があります。

朝食後(3種類)・昼食後(1種類)・夕食後(2種類)と**服用時間毎に分包機で1袋にまとめることを、一包化といいます。**

■ヒート・PTPとは？

PTP: PTP包装 (press through pack)▶

錠剤やカプセルなどを押し出すタイプの包装のことです。現在、錠剤のほとんどがPTP包装となっています。

ヒート: SP包装 (strip package)▶



アルミ箔やセロファンに低密度ポリエチレンなどの熱可塑性高分子フィルムを重ねたラミネートフィルムで作られたヒートシール型の包装形態のことです。